

## 第42回和歌山県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成24年2月23日(木) 13:30～ 和歌山県自治会館 203会議室	
出席委員氏名	田中昭彦(委員長) 濱田学昭(委員長代理) 江海康子 木下正美 松本雅博 水城実	
審議対象期間	平成23年10月1日～平成23年12月31日	
抽出案件	総件数 2件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の設定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1件	
条件付き 一般競争入札	2件	
通常指名競争入札	1件	
随意契約	1件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○（合併入札）</p> <p>①有田川河川災害復旧工事</p> <p>②伏羊川河川災害復旧工事</p> <p>1. A委員</p> <p>    応札8者中7者は最低制限価格未満で失格となっており、落札した者だけが予定価格に近い額となっている。ランダム係数により最低制限価格を決定するしくみの中でこうしたことが起こってくるが、仮に落札者も低い額で応札していた場合はどうなるか。</p> <p>2. B委員</p> <p>    その場合、ランダム係数は変わるのか。</p>	<p>（発注機関：有田振興局建設部）</p> <p>1. 全者失格となり、再度公告して入札をやり直すことになる。</p> <p>2. ランダム係数は入札ごとに算出されるものなので、（偶然同じになる場合を除き）異なる値となる。</p>
<p>○国道480号（仮称2号トンネル）道路改良工事</p> <p>1. A委員</p> <p>    山内を迂回する道路を造ることになるが、経済効果としてはどうなのか。</p> <p>2. A委員</p> <p>    約70%の落札率で非常に低額となっているが、低入札価格調査を行うとはいえず、適正に工事ができるのか。</p> <p>3. B委員</p> <p>    失格となった2者の失格理由は何か。</p>	<p>（発注機関：道路建設課）</p> <p>1. メリット・デメリットがあるが、地元の意見を聞き議論のうえ、やはりバイパスが必要との結論となったもの。</p> <p>2. 調査の結果、そう判断した。また、低額での応札は、ここぞと思う工事には特に力を集中するという、応札者の経営判断というものもあるのではないかと思われる。</p> <p>3. 低入札価格調査書類の提出がなかった。</p>

意見・質問	回 答
<p>4. C委員 会議資料の「低入札価格調査結果の概要」を見ても、これだけでは本当に低い金額でも出来るという事が確認できない。</p> <p>5. D委員 低入札価格調査の概要において、手持ち資材欄が「該当なし」となっているが、受注者が保有していなくてよいのか。</p> <p>6. E委員 落札したJVの構成員の総合点数は何点か。またその内訳は。</p> <p>7. F委員 落札したJVの構成員はトンネルのノウハウを持っているのか。</p>	<p>4. 「低入札価格調査結果の概要」は結論のみ簡潔に示したものであるので、これに記載した内容だけで判断できるものではない。実際は詳細なマニュアルに沿って様々な提出書類を審査し、ヒアリングも行い、その結果として判断している。</p> <p>5. トンネルの場合専門業者があり、落札者自身が保有していなくてもよい。低入札価格調査においては専門業者の見積書も確認している。</p> <p>6. 1314点。経営事項審査の総合評定値が832点で地方基準点数が482点。</p> <p>7. JVの代表者についてはトンネル工事の実績を求めているが、構成員には求めている。これは県内業者への技術移転を図るためで、構成員には本工事により実績を積んでもらうことで、今度は単独で、あるいはJVの代表者として入札参加できるようになってもらうことを意図している。</p>

**【意見交換会】**

下記について意見交換を行った。

記

1. 公共工事動向について
2. 台風12号に伴う復旧・復興事業からの暴力団排除について